静岡県国土利用計画（第五次）素案の概要

第２章　県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要

１　県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標

（１）目標年次及び計画の基礎

◆計画の基準年次は平成 26 年、目標年次は平成 38 年
◆平成 38 年の人口はおよそ 359 万人、一般世帯数はおよそ 138 万世帯と想定

（２）規模の目標

利用区分＼年次	平成26年（km^2）	平成38年（km^2）	構成比 平成26年（%）	構成比 平成38年（%）	差（H38−H26）（km^2）	（H38-H26）増減率（%）
農地	685	666	8.8	8.6	▲ 19	▲ 2.8
森林	4,975	4,975	64.0	64.0	0	0.0
原野等	45	45	0.6	0.6	0	0.0
水面・河川・水路	300	301	3.9	3.9	1	0.3
道路	355	367	4.6	4.7	12	3.4
宅地	627	633	8.1	8.1	6	1.0
住宅地	369	369	4.7	4.7	0	0.0
工業用地	64	70	0.8	0.9	6	9.4
その他の宅地	194	194	2.5	2.5	0	0.0
その他	792	792	10.2	10.2	0	0.0
合計	7,779	7,779	100.0	100.0	0	0.0
人口集中地区			−	−		

・規模の目標は、将来人口等を前提として、県土利用の基本方向を達成するために、利用区分別に必要な土地面積を予測し、土地利用の実態を踏まえて定める
・これらの数値は、今後の経済社会の不確定等にかんがみ、弾力的に理解されるべき性格のもの

２　地域別の概要

（１）地域区分の考え方

◆都市機能等の集積のメリット等を考慮、政令市並みの人口規模を目安
◆伊豆半島地域における観光等の特性を踏まえた地域づくり、東部地域における都市間連携による地域づくり、富士山静岡空港周辺地域における新たな発展に向けた地域づくりの視点に立って設定

（２）地域区分

地域名	概ねの地域エリア
伊豆半島地域（7市6町）	沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町
東部地域（6市4町）	沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、函南町、清水町、長泉町、小山町
中部地域（1市）	静岡市
志太榛原・中東遠地域（9市3町）	島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町、森町
西部地域　（2市）	浜松市、湖西市

※「伊豆半島グランドデザイン」（平成 25 年４月）の策定など、近年の新たな動きを踏まえ、沼津市、三島市及び函南町は、伊豆半島地域と東部地域に重複している。

（参考）国の規模の目標

利用区分＼年次	平成24年（万ha）	平成37年（万ha）	構成比 平成24年（%）	構成比 平成37年（%）	差（H37−H24）（万ha）	（H37−H24）増減率（%）
農地	455	440	12.0	11.6	▲ 15	▲ 3.3
森林	2,506	2,510	66.3	66.4	4	0.2
原野等	34	34	0.9	0.9	0	0.0
水面・河川・水路	134	135	3.5	3.6	1	0.7
道路	137	142	3.6	3.8	5	3.6
宅地	190	190	5.0	5.0	0	0.0
住宅地	116	116	3.1	3.1	0	0.0
工業用地	15	15	0.4	0.4	0	0.0
その他の宅地	59	59	1.6	1.6	0	0.0
その他	324	329	8.6	8.7	5	1.5
合計	3,780	3,780	100.0	100.0	0	0.0
人口集中地区	127	121	−	−		